

同意

◎せたな町監査委員の選任
12月の一般質問が監査委員として不適切な発言であると認め、その責任を取って小平久議員が監査委員を辞任しました。
後任には、奥村喜美男議員が選任されました。

議会構成

奥村喜美男議員の監査委員選出に伴い、次の通り議会構成が変更となりました。

変更前
議長 奥村 喜美男
委員 石原 広務
議会運営委員会

23年度補正予算

◎一般会計補正予算(第8号)
4531万3千円を減額し、予算額は8億8679万4000円となりました。
補正の主なものは、減額に

については各種事業の最終的な精査によるものです。

増額については、国の第4次補正予算を活用した栄地区乾燥調整施設整備や農業体質強化基盤整備に対する助成の他、温泉ホテルきたひやま等の指定管理料、不採算経費に対する病院事業会計繰出金などが主なものです。

◎一般会計補正予算(第9号)
100万円を追加し、予算額は8億8779万4000円となりました。
補正の内容は、ふるさと応援寄附金を、担い手育成基金に積み立てるものです。

◎国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
5827万円を追加し、予算額は17億6344万2000円となりました。
補正の主なものは、医療機器等の施設整備分及び僻地直診診療所の運営費補助分を病院会計へ繰り出しするものです。

◎後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
361万7000円を減額し、予算額は1億1329万6000円となりました。

補正の主なものは、後期高齢者医療広域連合へ納付する後期高齢者医療保険料の精査などです。

◎介護保険特別会計補正予算(第4号)
377万7000円を減額し、予算額は9億2523万7000円となりました。
補正の主なものは、介護予防サービス給付負担金及び介護予防住宅改修負担金などの精査です。

◎介護サービス事業特別会計補正予算(第4号)
95万7000円を減額し、予算額は6878万4000円となりました。
補正の主なものは、通所介護業務委託料の一部を、緊急雇用推進事業の対象としたことなどによるものです。

◎簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)
1億7647万8000円を減額し、6億1859万1000円となりました。

補正の主なものは、大成区簡易水道施設整備事業費の精査によるものです。

◎営農用水道等事業特別会計補正予算(第4号)
62万4000円を追加し、予算額は2451万1000円となりました。
補正の主なものは、各施設の維持管理経費、施設整備事業費の精査による財源を、基金に積み立てるものです。

◎公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
5363万1000円を減額し、予算額は7億7791万7000円となりました。
補正の主なものは、施設の維持管理経費及び汚水処理施設共同事業費の精査などです。

予算額は増減なしの589万3000円です。
補正の主なものは、排水施設使用料が見込み増となることから、財源振替をするものです。

◎風力発電事業特別会計補正予算(第2号)
141万8000円を減額し、予算額は4911万6000円となりました。
補正の主なものは、施設の維持管理経費の精査、消費税の納付税額の確定による減額です。

◎病院事業会計補正予算(第4号)
収益的収入及び支出において、1096万7000円を追加し、予算額は12億7319万4000円となりました。
補正の主なものは、臨時医師賃金や薬品費です。
また、資本的支出では医療機器購入費などで、567万円を増額し、予算額は1億546万円となりました。

一般質問



4名の議員から一般質問があり、町長・教育長の考えを問いました。

津波災害避難訓練実施は

大湯 圓 郷 議員

平成25年度に町全域を対象とした訓練の実施へ

答弁 町長

津波に対する避難訓練ですが、平成21年度から、瀬棚、北檜山、大成の各区持ち回りで毎年、避難訓練を実施しており、そのすべてが地震・津波災害を想定したものです。

23年度は、大成区宮野地区において地震・津波被害を想定した避難訓練を行い、本庁、大成・瀬棚両総合支所間での通信訓練も併せて実施しています。

24年度は瀬棚区で実施する予定であり、本庁・支所間の通信訓練なども引き続き実施する予定です。

なお、東日本大震災以降の取り組みとしては、今後北海道から示される津波避難計画策定指針に基づいて、24年度

に津波避難計画の策定を予定しています。町としては、津波避難計画策定や自主防災に関する取り組みなどの整備を図りながら、北海道南西沖地震から20年を迎える平成25年度に町全域を対象とした地震・津波災害を想定した避難訓練の実施に向けて取り組みを進めたいと考えています。



大成区避難訓練